鉄道とタクシーの配車連携実証事業｜JR四国

2026/03/11

目的：駅からのシームレスな移動環境の構築

- 二次交通の供給不足や配車アプリの普及不足により、鉄道と到着駅から最終目的地までの移動が分断されているという課題に対し、タクシー配車をシームレスに連携させる
- 初めて訪れる利用者が、駅到着後の移動手段に不安を抱くという課題に対し、事前予約によってタクシーを確保できる仕組みを設ける
- 駅ごとの2次交通需要や最終目的地の把握が難しいいう課題に対し、実績データの収集・分析により可視化する

事業内容：特急列車内からの二次元コードによるタクシー配車実証

【交通サービスの高度化】
- 予讃線特急列車内の座席テーブルに二次元コード掲出。お客様が読み取り、フォームに必要事項を入力することで電脳交通の配車システム（DS）を通じてタクシーを手配、スムーズに乗り継げるサービス提供
- 配車サービス利用促進や周知のためのプロモーションを実施

【モビリティデータの取得と活用】
- Webフォームで入力されたお客様からの配車依頼データ（各駅の予約依頼数・配車数・配車率等）を取得、分析することで、鉄道からタクシーに乗り継ぐニーズ把握と本サービスの継続可能性を検証

【地域交通政策等との連携】
- 各交通事業者、観光団体、行政等が参画する香川県タクシー利用利便性向上協議会の施策と連携、香川県内で面的にタクシー利便性向上

効果
- 課題：特急停車駅でも、バス路線と接続していない、時間帯によって駅前にタクシーがいないなどシームレスな移動環境が確保されていない。配車アプリの普及不足により、電話の配車依頼が中心で利用者・タクシー事業者ともに手配に手間がかかる
- 効果：特急列車内からのタクシー手配サービスの提供により、あらかじめ降車駅のタクシーを手配でき、スムーズにタクシーへの乗継ぎができるサービスを提供した

【実施エリア】

【対象列車】
・ JR四国　予讃線（岡山～松山、高松～松山）
　を走行する特急列車
【対象駅】
・ 香川県内：
　高松駅（高松市）、坂出駅（坂出市）、宇多津駅（宇多津町）、丸亀駅（丸亀市）、観音寺駅（観音寺市）
・愛媛県内：
　川之江駅（四国中央市）、伊予三島駅（四国中央市）、今治駅（今治市）



【本事業の取組の全体像】

特急列車内に掲出した二次元コードを読み込み。フォームに「氏名、電話番号、列車名、降車駅」等を入力、手配依頼送信

↓

タクシー事業者は、電脳交通の配車システムにより手配内容を受信



↓

・配車の可否を利用者にSMSで回答



↓

配車可能な場合、利用者の到着時刻に合わせてタクシーを駅前に手配





特急列車の二次元コード



配車依頼Webフォーム

【タクシー予約WebフォームSMS通知画面】



予約Webフォーム



利用者へのSMS回答

【特急列車座席貼付QRステッカー】



座席背面のステッカー

MLIT Copyright © 2026 by MLIT. All rights reserved.

プロジェクトの効果

課題に対する効果

#	課題	効果
1	特急停車駅でバス路線が十分整備されていない場合があるものの、駅前にタクシーの待機車両がいない時間帯があることや電話での配車依頼が中心であることから特急停車駅から目的地へのシームレスな移動環境が確保されていない。	特急列車の利用者が、車内に掲出している二次元コードを読み取り、Webフォームに必要情報を入力することで事前に降車駅のタクシーを手配できるサービスを提供し、特急停車駅でスムーズにタクシーに乗継ぎができる環境を確保できた。
2	特急列車の利用者のタクシー乗車実績（利用回数、最終目的地等）を取得できていないため、利用者ニーズに合ったタクシーの供給による利便性の向上や事業者がシステムを利用することによる投資対効果が確認できない。	タクシー配車サービスを導入し、利用者の乗車実績の取得と分析により、同じ路線の特急停車駅でも列車方面、時間帯、目的地等で駅ごとのタクシーの利用ニーズが異なることを確認できた。分析結果を香川県、愛媛県に説明し、利用者の利便性向上やシステムを利用しつつ事業を持続するための取組について意見交換を実施。
3	タクシー事業者にとって、駅前で待機しても利用者がいない需要の不確実性や電話での配車依頼が中心である中、電話応対の業務負荷の課題がある。	利用者による事前のタクシー配車により、タクシーが、駅前で長時間待機する必要がないため、タクシー運転士や車両を効率的に運用できた。また、タクシー事業者の事務所では電話対応の時間時間が削減できた。

KPI

【凡例】 **赤字：目標達成**　**青字：目標未達成**

#	測定項目	KPI	計測方法	計測頻度・回数	事業実施年度の目標値	最終結果	達成/未達成の原因
1	Webフォームの利用者数増加	Webフォームのアクセス数	電脳交通からのデータベースを確認	毎月	5,900件	**3,449件**	高松駅や坂出駅など人口が多いエリアは、二次交通の供給に比較的問題がなく、Webフォームのアクセス数が想定よりも少なかったため、全体としては目標を達成できなかった。
2	タクシー配車予約者数増加	予約依頼数	電脳交通からのデータベースを確認	毎月	680回	**414回**	高松駅や坂出駅など人口が多いエリアは、二次交通の供給に比較的問題がなく、Webフォームのアクセス数が想定よりも少なかったため、予約者数も想定よりも少ない結果となった。なお、伊予三島駅、川之江駅では1駅あたりの目標値を上回っている。
3	予約が実配車まで至る数の増加	実配車数	電脳交通からのデータベースを確認	毎月	500回（配車率73.5%）	**296回（配車率71.5%）**	配車数は、予約依頼数が目標に達しなかった影響で、目標値を下回った。なお、予約依頼数に対する実配車数（配車率）は、目標に近い率で実施することができた。

MLIT Copyright © 2025 by MLIT. All rights reserved.